



←矢切畑にジャガイモの花が咲いた。この花が満開になるとジャガイモ掘りが行われる。

→すっかり暖かくなった矢切の渡しには、これからは日傘の花が咲く。

今日は母の日。いつごろから始まったのかあまり記憶にないが、もともと日本にあつた風習ではない。

物の本によるとアメリカのウエストバージニア州の知事が一九一四年に五月の第二日曜日を母の日とすると決めたのが明治末年ごろに日本にはいつてきたのだそうだ。

いかにも外国かぶれが好き日本人らしく、母の日にカーネーションを贈るなどといわれていて、そのほとんどが南米のエクアドルからこの日のために輸入されているのだそうだ。

そんな世間とは関係なく矢切の渡しでは子どもづれ、あるいは三世代づれが多かった。関係ないとはいえ、やはり母の日はそんな家族連れの心のどこかにあるのかもしれない。

まあ、お客さんが多ければ矢切の渡しにとつてはどっちでもいいことだ。そんなことよりも、

「いよいよ今日だねえ」

舟頭さんが朝の挨拶がわりにいうように、今日から大相撲が始まる。われわれの興味はほかでもない。奇数月ご

## 今週のクマ

→ホテイチクの  
タケノコが出た。  
クマがかぶりつ  
いて食べる。



→今年もサクランボが  
色づいた。数日後に  
見たら今年も小鳥に  
たべられていた。早め  
に写真に撮っておい  
てよかった。



とに開かれる大相撲のほうにある。

しばらくモンゴル勢に牛耳られていた大相撲がおよそ二十年ぶりに日本人横綱が誕生したことで、おおいに盛り上がっている。したがった大相撲の始まる日はことのほか話がはずむ。

いの一番組に話題になったのが豊山のことだった。我々の年代になると豊山といえば東京農業大学出のかわい大関として記憶にある。その十年ほど後にも豊山を名乗った力士がいた。同じ新潟県新発田市の出身で大学も同じだが小結までしか出世しなかった。

こんどの豊山も新潟市の出身で東京農業大学を卒業して時津風部屋にはいりスピード出世で新入幕をしたといので我々のあいだで話題になったのだ。

新入幕初日の今日は体の大きな魁聖との取り組みだったが寄り切りで勝った。ほかに注目の力士の石浦は徳勝龍を押し出し、宇良は荒鷲を同じく押し出しで二人の小兵力士が勝った。

ひとつだけ残念だったのは期待の日本人横綱の稀勢の里が小結の嘉風に押し出して敗れたことだ。今日から二週間、矢切の渡しでの話題はつきない。